

事業計画書

事業名	ぬまづの宝百選一首～100選めぐって沼津の魅力を和歌にしよう～
実施場所	沼津市内全域
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

◎事業概要

前年度は、100選に掲載されている歴史・文化・自然・味覚等について、富士山と駿河湾の自然により育まれた市民の優雅さや沼津らしさを和歌（短歌）として詠むために、市民参加型ワークショップ（ぬまづの宝巡り＋和歌（短歌）の学び）を行いながら、広報・インターネットなどを通じて和歌（短歌）を公募しました。これから、公開選定会を行い、百選集として『ぬまづの宝百選一首』を3月に発刊予定。

本年度は、かるた作成に必要な絵札である宝素材をワークショップ（写生撮影会）や展示会やミニワークショップなどを行いながら集める。また、前年度で行った短歌講座、短歌教室を継続して行っていく。

以降は、かるた製作、学校・教育機関などに配布、かるた大会を開催。また、かるたを販売することで事業化の自立を目指す。

◎目的

沼津市によって選定された『百宝事典 ぬまづの宝100選』（以下100選）を啓蒙・再認識し、和歌（短歌）を通じ、人・文化の活発な交流を行い、市内外に沼津愛（シビックプライド）を育むことを目的とする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>①百選一首（絵札になる素材）を公募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定の宝素材（絵札になる絵画や写真）を公募。 ・ワークショップの開催で、公募を推進（1回30名の参加者を有料で募り、選定された短歌にそった素材を100選を巡りながら集める。） <p>②展示会とセレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップで模写・撮影された素材を短歌と照らし合わせて見て貰い、ぬまづ宝百選一首集の世界観を演出。今期事業の説明・告知 <p>③短歌講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に行った短歌講座や短歌交流会は引き続き行っていく。 ・指定（応募の少なかった）の短歌再募集 <p>④発表展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募作品の展示と選考 ・書写ワークショップ

	<p><スケジュール></p> <p>①リーフレット作成・配布／広報掲載依頼／ 展示会で必要な『ぬまづの宝桜4カ所』の公募</p> <p>●展示会準備</p> <p>②芹沢記念館（予定）で展示会（二週間位） 展示サイズ：絵画はA4、写真は2L。出展料：有料</p> <p>ミニワークショップ：参加費¥300</p> <p>●セレモニー（素材公募開始）</p> <p>●短歌講座（再募集告知、公募開始）</p> <p>●ワークショップ 沼津市内地区撮影写生会（狩野川 沼津城跡 七夕祭） 参加費：¥500（絵画はプラス用紙代）、午後は会場にて仕上げ。</p> <p>●ワークショップ 戸田地区（くるら戸田 棚田） 参加費：¥500（絵画はプラス用紙代）、午後は会場にて仕上げ</p> <p>●短歌公募〆切</p> <p>●ワークショップ 浮島地区（アクアプラザ） 参加費：¥500（絵画はプラス用紙代）、午後は会場にて仕上げ</p> <p>●短歌選考</p> <p>●展示会と選定会（二週間位） 展示サイズ：絵画はA4、写真は2L。出展料：有料 短歌公開選定 ミニワークショップ：参加費¥300</p>
4月	
5月	
5月中旬以降	
5月19日（日）	
6月	
7月7日（予定）	
10月6日（予定）	
1月	
2月	
3月	

◎事業効果

前年度で発刊される冊子を用い、絵画写真に携わっている人を宝100選で繋ぐ。
短歌を身近に感じ詠んでもらう事により、文化教養力の向上、さらには心を育む。
短歌の再募集により、人気のない宝を磨く。

	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。		※左記指標の検証方法を記載して下さい。
成果指標	応募目標数：絵画 80、写真 80 短歌 80 首（有料エントリー）	指標の 検証方法	アンケート 有料、無料によりニーズの把握検証

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>ラブライブ・オリンピック開催等々により交流人口が増えてきている近年。 ぬまづの宝100選をめぐりながら沼津市民はもとより内外で交流をすることにより、魅力を一緒に体感できる。 前年度で発刊される冊子を用い、絵画写真に携わっている人をこの事業を通じて繋ぐ。 対象者が参加しやすい様に自己負担をなるべく少なくし多くの方に携わってほしい。</p>
地域性	<p>100選を地域ごとでめぐる事により、その地域の特色である魅力を体感し、ゆくゆくはロードマップにもつながっていき誘致の助けにもなる。体感する事で、市民だけにとどまらず、景観や歴史、習慣などを守ろうと思う心を育む。</p>

<p>先導性</p>	<p>活動する事で 100 選の周知につながり、マイナーな宝を見える様にしていく。それがひいては、地元市域民が宝を磨く事になる。また、この活動によって地域はもとより短歌層と絵画層と写真層などの繋がりが生まれる。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>前年度では、日本の宝でもある伝統の和歌を百首つくる事により、文化教養で親しまれてきた沼津を復活させることに努めた。人気のない箇所が短歌公募により見えて来たので、再募集によりスポットライトをあてる。それにより、たから 100 選に磨きがかかる。写生撮影に冊子のエッセンス（沼津愛）を加えるワークショップは、宝をじっくり見つめ感じる（観察する）事ができる。綺麗な姿をおさめたくるので、物理的にも磨かれる。次年度は、全ての宝素材を集め選定する。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>1 年目は短歌集めと宝 100 選の周知に努め、冊子の発刊まで辿り着くことが出来そうだが、募集の少なかったスポットの存在がとても残念。よって本年度は、短歌の質の向上を図るため何箇所かを再募集する。短歌講座を行う事により実行委員の能力が向上した。よって短歌講座は短歌募集と並行して行い、今は、講師先生のご協力のもと行っているが実行委員も行える様子を力をつけたい。と同時に学生の短歌層を増やし後継者を育てる。確定の短歌の絵札素材になる写真・絵画・書は、ワークショップを行いながら募集する。展示会を設ける事により促進と質の向上につなげる。全ての素材の選定は、次年度をまたぐ。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>沢山の素敵な短歌が集まった事は、多くの方に宝を詠んで頂けた事でもある。とても喜ばしくやりがいがある。また、100 選宝を巡りしながら人との繋がりが出来た。今後も多くの方と巡り会い繋がっていききたい。実行委員は、それぞれに色んな分野に長けている。それをもっと引き出して、沼津に貢献していきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

集めきれなかった素材（再募集によって再選定された短歌の写真や絵画や書）を募集する。そして、かるたを製作し、活用・販売する。短歌講座の持続継続自立化を促進

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

ほぼほぼ満点！だが、短歌層は IT に疎い事を再認識した（現在の層が年配者なので）。子供の影響と応募の為に始めて使ってみた方もいるので、若い世代の短歌層が増えれば必然的にシビックテックに繋がるだろう。

ラブライバーさんや燦々大使や他のボランティアガイドさん達との繋がりを強化。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。